海外展開のワンポイント情報

経済がグローバル化する中で、中小企業においても海外展開に関心が寄せられています。そこで当中央会では、今年度も引き続きジェトロからのご案内として、ビジネス情報を連載します。ぜひ、お役立てください!!

JETRO 日本貿易振興機構（ジェトロ）からのご案内

「香 港」

最近の話題は、2017年実施予定の次期行政長官の選挙制度改革をめぐり、大規模かつ長期にわたった抗議活動ですが、一時期、主要なビジネス街や繁華街にその活動が拡大し、道路が封鎖され、市内の交通、物流網は混乱し、周囲の店舗の売り上げは減少しました。その後2014年12月中旬、香港警察による関係デモ隊の強制排除の形で終結し、現在は香港全域で交通、経済活動は平常に戻っています。ここのところ減速気味であったGDP成長率は、この影響を含め2014年通年ではさらに落ち込むことが予想されますが、およそ3カ月の長期間にわたる抗議活動にも関わらず、個別には経営上深刻な影響を受けた企業は少ない模様です。

日本との関係についてはこれまでも良好で、2007年以降7年連続して、香港は日本の農林水産物の最大の輸出先となっています。真珠、乾燥なまこ等高級水産物やたばこをはじめ多種類の品目を輸出しています。香港は自由貿易地域として輸出がしやすく、また、富裕層の存在、日本ブランドの浸透、日本の商品への高い信頼、さらには中国本土を中心に、その他海外から多くの来訪があることから、テストマーケティングの場としても活用されています。モノの面だけでなく、香港から訪日観光客が近年増え、香港から日本の地方空港への定期航空便の新規開設も活発で、香港の方々をみかけることが多くなりました。これら観光客を通じての日本各地の特産品の市場拡大も期待されるところであります。

比較的ビジネスのしやすい香港ですが、ビジネス展開にあたり留意事項として、当然ながら事前に収益見通しを立てることはもちろん、なかなか予測が困難な地価や賃料の高騰、また貧困層が4割ほどを占め、人口自体も700万人強であることからその購買力の限界や、育てた社員がすぐに辞めてしまう雇用の流動性、地場財閥や中華系企業が支配する独特の経済圏であり、ビジネスの差別化や特徴が求められます。

とはいえ、①中国とアセアンの間に位置する地理的メリット、②自由貿易地域として関税が総じて低いこと、その他法人税、所得税も低く、③高度な物流機能を有すること（航空・海上貨物取扱量はいつも上位、中国華南地域への窓口）、④行政の透明性、⑤交通、情報通信、生活環境、医療水準の高さなど社会インフラの充実、⑥会社の設立や撤退にあたり法的・実務的な障壁が少ないこと、また関連する諸経費も安価であること、⑦国際貿易拠点としての歴史的背景があり、西洋文化、中国・アジアビジネス文化にも精通した人材がいること、加えて英語人材も豊富、⑧反日感情はほとんどない、というメリットがあります。香港は、自由貿易とともに、内外無差別原則に基づいて外資系企業を受け入れています。観光誘致、情報通信技術分野などサービス産業を筆頭に、中小企業・ベンチャー企業支援など競争力強化のための政策展開の他、近年では、生物医学、教育・トレーニング、再生可能エネルギーなどの誘致にも力を入れています。

＜香港基礎情報＞
①人口：723万人（2014年、香港政府統計処）、②一人当たりGDP（名目）：37,777米ドル（2013年、IMF）、③消費者物価上昇率：4.3%（2013年、同①）、④失業率：3.4%（2013年、同①）

香港に関して必要な情報、ご質問などございましたら、ジェトロ三重（TEL 059-228-2647 FAX 059-228-3185）までご連絡お待ちしています。